

抽出案件概要（随意契約）

項 目	説 明 内 容	
契約名 (工事・物品・役務等の別)	令和5年度日本食・食文化の魅力発信による日本産品海外需要拡大委託事業（外国人日本食料理人の人材育成） (役務)	
概 要	外国人料理人を対象とした日本料理の大会及び講習会等の人材育成に係る取組を実施する。大会は、「日本料理部門」と「すし部門」を設け、「日本料理部門」は世界3都市で現地大会を行い、各大会の優勝者に対して日本での研修等を実施する。「すし部門」は日本において予選大会と決勝大会を行う。 大会開催に併せて、大会参加者や開催都市周辺の外国人料理人等を対象とした日本食・食文化及び日本産品に対する知識・理解を更に深めるための人材育成の取組を実施する。	
契約状況(方式)別 審査カテゴリ	入札・契約審査委員会 (☐ 審査対象外) ☒ 審査対象 [☒ 企画競争・公募 ☐ その他の随意契約] 一者応札(応募)改善策 ☐ 策定対象 ☒ 策定対象外 [☐ 公募 ☒ 次年度契約なし ☐ 研究開発 ☐ 改善の余地が見込まれない ☐ 複数応札] ☒ 委託事業	
契約担当官名	支出負担行為担当官 農林水産省大臣官房参事官(経理)	
契 約 内 容	契 約 方 式	随意契約
	会 計 法 令 根 拠 条 文	会計法第29条の3第4項(企画競争)
	応 札 者 数	1 者 (うち公益社団法人等 0 者)
	契 約 相 手 方	株式会社テー・オー・ダブリュー 法人番号 3010401029287 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 無)
	契 約 締 結 日	令和5年7月10日
	履 行 期 間	令和5年7月10日 ~ 令和6年3月22日
	予 定 価 格 (契約限度額)	66,999,647円
	契 約 金 額	66,999,647 円
	落 札 率	100.0 %
	企画競争の公示 : 令和5年6月13日 ~ 令和5年6月28日 (14日) 企画競争の説明会 : 令和5年6月19日 企画書提出締切日 : 令和5年6月29日 企 画 提 案 会 : 令和5年6月30日 企画競争結果概要 : 本業務は、外国人料理人を対象とした日本料理の大会を行うものであるため、一定の条件の下で	

随 意 契 約 の 理 由 及 び 経 緯	企画書、プレゼンテーション等により、比較検討を実施し、最も優れた者を契約候補者に選定する企画競争を実施した。 選定にあたっては、企画審査基準により、企画審査委員会が企画提案書を審査・採点し、株式会社テー・オー・ダブリューが■■■■点中■■■■点を獲得し、契約候補者となり、会計法第29条の3第4項に基づき契約を締結した。 応 札 者 の 条 件 : 「役務の提供等」の「A」等級が対象であるが、「B」及び「C」等級を追加し、対象を拡大した。 【設定の理由】 過去の類似案件により提案状況から、競争参加資格を「A」等級のみに限定した場合、提案者が少数になることが懸念されるため、十分な競争性を確保するため、「A」、「B」及び「C」等級に拡大した。
一者応札となった原因	—
改 善 策	—
備 考	

添付資料

- ① ☒ 仕様書(P3～P15) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P16～17)
- ② ☒ 企画競争の公告の写し(P18)
- ③ ☒ 随意契約審査調書(P19)、チェックリスト(P20～P25)
- ④ ☒ 随意契約理由書(契約方式の理由)(P26～P27)
- ⑤ ☒ 企画書(企画競争、公募の場合)(P28～P93)
- ⑥ ☒ 随意契約審査調書(契約相手方決定時)(P94)
- ⑦ ☒ 企画審査委員会審査結果(P95)、企画審査検討経過記録(P96～P98)、採点結果(P99～100)
- ⑧ ☐ 1者応札改善策チェックシート(別紙含む)
- ⑨ ☒ 委託事業の場合は、事業概要(P101)
- ⑩ ☐ その他参考資料

抽出案件概要(随意契約)

項 目	説 明 内 容
契約名 (工事・物品・役務等の別)	令和5年度安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業のうち課題解決型プロジェクト研究(持続可能な農林水産業推進とフードテック等の振興に対応した未来の食品安全プロジェクトのうち、農産物中PFASの分析法の確立、農地土壌、水等からのPFAS移行特性の解明) (役務)
概 要	農産物のPFASのリスク管理の必要性を検討するため、農産物中PFASの分析方法を確立するとともに、農地土壌・水等から農産物中へのPFASの移行特性を解明する。
契約状況(方式)別 審査カテゴリ	入札・契約審査委員会 (☐ 審査対象外) ☒ 審査対象 [☒ 企画競争・公募 ☐ その他の随意契約] 一者応札(応募)改善策 ☐ 策定対象 ☒ 策定対象外 [☐ 公募 ☐ 次年度契約なし ☒ 研究開発 ☐ 改善の余地が見込まれない ☐ 複数応札] ☒ 委託事業
契約担当官名	支出負担行為担当官 農林水産省大臣官房参事官(経理)
契 約 内 容	契 約 方 式 随意契約
	会 計 法 令 根 拠 条 文 会計法第29条の3第4項(企画競争)
	応 札 者 数 1 者 (うち公益社団法人等 0 者)
	契 約 相 手 方 PFAS コンソーシアム 業務執行組合員 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 法人番号 7050005005207 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 無)
	契 約 締 結 日 令和5年8月7日
	履 行 期 間 令和5年8月7日 ~ 令和6年3月31日
	予 定 価 格 (契約限度額) 19,500,000 円
	契 約 金 額 19,500,000 円
落 札 率	100.0 %
	随 意 契 約 の 理 由 及 び 経 緯 企画競争の公示: 令和5年2月8日 ~ 令和5年3月30日 (49日) 企画競争の説明会: 令和5年2月16日 (任意) 企画書提出締切日: 令和5年3月31日 企画提案会: 令和5年4月27日 企画競争結果概要: 本業務は、研究開発を行うものであるため、一定の条件の下での企画提案会により、比較検討を実施し、最も優れた者を契約候補者に選定する企画競争を実施した。 選定にあたっては、企画審査基準により、審査委員会が企画提案書を審査・採点し、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が業務執行組合員となっているPFASコンソーシアムが██████点中██████点を獲得し、契約候補者となり、会計法第29条の3第4項に基づき契約を締結した。

	応 札 者 の 条 件 : 「役務の提供等」の「B」等級が対象であるが、「A」、「C」及び「D」等級を追加し、対象を拡大した。 【設定の理由】 過去の提案状況から、競争参加資格を「B」等級のみに限定した場合、応募者又は提案者が少数になることが懸念されることから、十分な競争性を確保するため、「A」～「D」等級に拡大した。
一者応札となった原因	—
改 善 策	—
備 考	

添付資料

- ① ☒ 仕様書(P3～P6) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P7～8)
- ② ☒ 企画競争の公告の写し(P9～P11)
- ③ ☒ 随意契約審査調書(P12～P13)、チェックリスト(P14～P18)
- ④ ☒ 随意契約理由書(契約方式の理由)(P18～P23)
- ⑤ ☒ 企画書(企画競争、公募の場合)(P24～P101)
- ⑥ ☒ 随意契約審査調書(契約相手方決定時)(P102～P104)
- ⑦ ☒ 企画審査委員会審査結果(P105～106)、企画審査検討経過記録(P107～P112)、採点結果(P113～P116)
- ⑧ ☐ 1者応札改善策チェックシート(別紙含む)
- ⑨ ☒ 委託事業の場合は、事業概要(P117～118)
- ⑩ ☐ その他参考資料

抽出案件概要（随意契約）

項 目	説 明 内 容	
契約名 (工事・物品・役務等の別)	令和5年度健康食品分野での低たん白加工処理玄米の包装米飯に係る製造工程管理方法の国際標準化調査等委託事業 (役務)	
概 要	「低たん白加工処理玄米の包装米飯JAS」の国際標準化を進め、低たん白加工処理玄米の国内外での普及を図るため、①国内外での実証データの収集、②認知度向上のための国際ワークショップの開催等、③海外市場拡大等を可能にするための技術開発を実施する。	
契約状況(方式)別 審査カテゴリ	入札・契約審査委員会 (☐ 審査対象外) ☒ 審査対象 [☒ 企画競争・公募 ☐ その他の随意契約] 一者応札(応募)改善策 ☒ 策定対象 ☐ 策定対象外 [☐ 公募 ☐ 次年度契約なし ☐ 研究開発 ☐ 改善の余地が見込まれない ☐ 複数応札] ☒ 委託事業	
契約担当官名	支出負担行為担当官代理 農林水産省大臣官房予算課経理調査官	
契 約 内 容	契 約 方 式	随意契約
	会 計 法 令 根 拠 条 文	会計法第29条の3第4項(企画競争)
	応 札 者 数	1 者 (うち公益社団法人等 0 者)
	契 約 相 手 方	一般社団法人メディカルライス協会 法人番号 4011105008824 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 有 契約年度: 令和4年度)
	契 約 締 結 日	令和5年9月11日
	履 行 期 間	令和5年9月11日 ~ 令和6年3月22日
	予 定 価 格 (契約限度額)	79,997,500 円
	契 約 金 額	79,997,500 円
	落 札 率	100.0 %
	企画競争の公示: 令和5年7月26日 ~ 令和5年8月23日 (27日) 企画競争の説明会: 令和5年8月1日 (任意) 企画書提出締切日: 令和5年8月24日 企画提案会: 令和5年8月28日 企画競争結果概要: 本業務は、低たん白加工処理玄米の包装米飯に係る規格の国際標準化の取組を行うものであるた	

随 意 契 約 の 理 由 及 び 経 緯	め、一定の条件の下で企画書、プレゼンテーション等により、比較検討を実施し、最も優れた者を契約候補者に選定する企画競争を実施した。 選定にあたっては、企画審査基準により、企画審査委員会が企画提案書を審査・採点し、一般社団法人メディカルライス協会が██████点中██████点を獲得し、契約候補者となり、会計法第29条の3第4項に基づき契約を締結した。 応 札 者 の 条 件 : 「役務の提供等」の「A」等級が対象であるが、「B」～「D」等級を追加し、対象を拡大した。 【設定の理由】 過去の提案状況から、競争参加資格を「A」等級のみに限定した場合、提案者が少数になることが懸念されるため、十分な競争性を確保するため、「A」～「D」等級に拡大した。
一者応札となった原因	(企画競争等の説明書受領者0者、企画競争説明会参加者2者) 本業務は、令和4年度から行っている業務であり、昨年度1者応札となったことから、公示期間の早期化及び延長の改善を行ったが、結果として1者応札となったもの。 (考えられる原因) 1者に対し、アンケートを実施し、原因を分析した結果、 ①企業に求める知見・専門性・実績等の要件が厳しかったこと ②他の受注案件を抱えており、受注業務量の兼ね合いから必要な人員を確保できないと判断したこと ③業務内容が膨大又は多岐に渡るため、必要な人員を確保できないと判断したこと が理由と考えられる。
改 善 策	アンケート調査の結果を踏まえ、改善策として、 ①及び③については、応札の幅を広げるため、専門分野が異なる場合や人員が十分確保できない場合であっても応札できるよう、共同事業体での参加を可能としていたところであり、今後も引き続き同要件を設定し、説明会等でその旨を説明する。 ②については、新規参入事業者が事業計画や実施体制の検討や必要な人員の確保ができるよう、入札公告の早期化を図る。
備 考	

添付資料

- ① ☒ 仕様書(P3～P16) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P17～18)
- ② ☒ 企画競争の公告の写し(P19)
- ③ ☒ 随意契約審査調書(P20)、チェックリスト(P21～26)
- ④ ☒ 随意契約理由書(契約方式の理由)(P27～P28)
- ⑤ ☒ 企画書(企画競争、公募の場合)(P29～P41)
- ⑥ ☒ 随意契約審査調書(契約相手方決定時)(P42～43)
- ⑦ ☒ 企画審査委員会審査結果(P44)、企画審査検討経過記録(P45～P46)、採点結果(P47～P48)
- ⑧ ☒ 1者応札改善策チェックシート(別紙含む)(P49～P53)
- ⑨ ☒ 委託事業の場合は、事業概要(P54)
- ⑩ ☐ その他参考資料

抽出案件概要(随意契約)

項 目	説 明 内 容	
契約名 (工事・物品・役務等の別)	令和5年度健康食品分野での低たん白加工処理玄米の包装米飯に係る知財・標準化戦略の検討・情報整理等委託事業 (役務)	
概 要	「低たん白加工処理玄米の包装米飯JAS」の国際標準化を進め、低たん白加工処理玄米の国内外での普及を図るため、海外市場拡大に向けた知財・標準化戦略の策定に必要な情報収集・整理等を実施する。	
契約状況(方式)別 審査カテゴリ	入札・契約審査委員会 (☐ 審査対象外) ☒ 審査対象 [☒ 企画競争・公募 ☐ その他の随意契約] 一者応札(応募)改善策 ☐ 策定対象 ☒ 策定対象外 [☐ 公募 ☒ 次年度契約なし ☐ 研究開発 ☐ 改善の余地が見込まれない ☐ 複数応札] ☒ 委託事業	
契約担当官名	支出負担行為担当官代理 農林水産省大臣官房経理調査官	
契 約 内 容	契約方式	随意契約
	会計法令 根拠条文	会計法第29条の3第4項(企画競争)
	応札者数	1 者 (うち公益社団法人等 0 者)
	契約相手方	株式会社野村総合研究所 法人番号 4010001054032 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 無)
	契約締結日	令和5年9月11日
	履行期間	令和5年9月11日 ~ 令和6年3月22日
	予定価格 (契約限度額)	29,996,780 円 (30,000,000円)
	契約金額	29,996,780 円
	落札率	100.0 %
随意契約の理由 及び経緯	企画競争の公示：令和5年7月31日 ~ 令和5年8月24日 (23日) 企画競争の説明会：令和5年8月4日 (任意) 企画書提出締切日：令和5年8月25日 企画提案会：令和5年8月29日 企画競争結果概要：本業務は、低たん白加工処理玄米の包装米飯に係る知財・標準化戦略の検討等を行うものであるため、一定の条件の下で企画書、プレゼンテーション等により、比較検討を実施し、最も優れた者を契約候補者に選定する企画競争を実施した。 選定にあたっては、企画審査基準により、企画審査委員会が企画提案書を審査・採点し、株式会社野村総合研究所が 点中 点を獲得し、契約候補者となり、会計法第29条の3第4項に基づき契約を締結した。	

	応 札 者 の 条 件 : 「役務の提供等」の「A」等級が対象であるが、「B」等級を追加し、対象を拡大した。 【設定の理由】 競争参加資格を「A」等級のみに限定した場合、提案者が少数になることが懸念されるため、十分な競争性を確保するため、「A」又は、「B」等級に拡大した。
一者応札となった原因	—
改 善 策	—
備 考	

添付資料

- ① ☒ 仕様書(P3～P17) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P18～19)
- ② ☒ 企画競争の公告の写し(P20)
- ③ ☒ 随意契約審査調書(P21)、チェックリスト(P22～27)
- ④ ☒ 随意契約理由書(契約方式の理由)(P28～P29)
- ⑤ ☒ 企画書(企画競争、公募の場合)(P30～P182)
- ⑥ ☒ 随意契約審査調書(契約相手方決定時)(P183～184)
- ⑦ ☒ 企画審査委員会審査結果(P185)、企画審査検討経過記録(P186～P187)、採点結果(P188～P189)
- ⑧ ☐ 1者応札改善策チェックシート(別紙含む)
- ⑨ ☒ 委託事業の場合は、事業概要(P190)
- ⑩ ☐ その他参考資料